

平成29年6月定例会

五島市教育委員会会議録

平成29年6月29日

五島市教育委員会

平成29年6月定例会会議録

1 日 時 平成29年6月29日(木) 午後1時57分～午後4時1分

2 場 所 市役所3階 第2委員会室

3 出席者 教育委員 吉田茂樹
教育委員 林田登志子
教育委員 坂本泰蔵
教育委員 佐藤清美
教育長 藤田清人

4 欠席委員

5 会議に出席した者の氏名

総務課長 蓮本光之 学校教育課長 都々木信幸
生涯学習課長 大窄昭三 総務課課長補佐 田脇栄二
学校教育課課長補佐 山口幸一 ~~学校教育班係長 松崎英憲~~
学務係長 江頭康一 生涯学習推進班係長 尾崎克厚
生涯学習推進班係長 石田厚広 福江幼稚園長 堤智代子
富江分室長 松坂正章 玉之浦分室長 近藤健二
三井楽分室長 立本清 岐宿分室長 松下繁信
奈留分室長 八代英文

(合計／書記含め15名)

6 欠席者 〳〳〳で消去

7 傍聴者 なし

8 書記 総務係長 池本佳孝

9 議題及び議事の概要

- 教育長（藤田 清人）が開会を宣告（午後 1 時 57 分）する。

教育長が前回会議録の承認について議題に供し、蓮本総務課長が 5 月定例会の会議録を説明の後、教育長が各委員へ審議を諮ったが、質疑、意見もなく承認された。

- 藤田教育長から次のことについて報告がなされた。
 - 1 長崎県市町村教委連総会・研修会（大村市）について（5 月 23 日）
後ほど各委員より研修会に参加しての感想等を発表していただきたいと思えます。
 - 2 公民館関係辞令交付式、事業概要説明会について（5 月 24 日、25 日）
 - 3 新任校長校学校訪問（嵯峨島小中、岐宿中、玉之浦小）について（5 月 31、6 月 1 日）
それぞれの学校で経営方針や子ども達の授業の姿等について、話を聞いてきました。
 - 4 福江幼稚園保護者面会について（6 月 5 日）
市議の紹介で、現在福江幼稚園に通園している保護者と今年度末に閉園予定の福江幼稚園について意見交換を行いました。今後、保護者と移譲先の園との相談会も開催する予定としています。
 - 5 第 1 回教科書採択協議会について（6 月 13 日）
共同採択地区である五島市と新上五島町により開催しています。来年度の道徳についての教科書採択等について協議しました。
 - 6 市議会 6 月定例会について（6 月 14 日）
後ほど総務課長より詳細について説明があります。
 - 7 青少年劇場について（6 月 15 日）
小学 4 年生以上の 859 名が鑑賞しました。
 - 8 第 1 回教務主任研修会について（6 月 22 日）
今回の研修では、学力向上に向けた改善策の立案等により教務主任の立場でどう関わっていくかについて研修を進めました。
 - 9 第 1 回五島市就学支援委員会について（6 月 28 日）
特別な配慮を要する子ども達の適切な就学支援について協議しました。
- 教育長が、議案の審議に入る旨述べる。

議案第43号 五島市外国語指導助手の委嘱について
議案第44号 五島市外国語指導助手指導員の委嘱について

教育長

議案第43号と議案第44号は関連がありますので、一括して説明をお願いいたします。

蓮本課長

議案第43号、議案第44号について説明。

江頭係長

補足説明。

教育長

ただ今の説明について、質疑はありませんか。

全委員

ありません。

教育長

特にないようですので、この件につきましては、承認することにいたします。

報告第13号 五島市社会教育委員の委嘱について
報告第14号 五島市生涯学習推進協議会委員の委嘱について

教育長

報告第13号と報告第14号は関連がありますので、一括して説明をお願いいたします。

蓮本課長

報告第13号、報告第14号について説明。

教育長

ただ今の説明について、質疑はありませんか。

全委員

ありません。

教育長

特にないようですので、この件につきましては、承認することにいたします。

報告第15号 五島市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について

教育長

報告第15号について、説明をお願いします

蓮本課長

報告第15号について説明。

教育長

ただ今の説明について、質疑はありませんか。

全委員

ありません。

教育長

特にないようですので、この件につきましては、承認することにいたします。

報告第16号 教育委員会事務局職員（任期付短時間勤務職員）の任命について

教育長

報告第16号について、説明をお願いします。

蓮本課長

報告第16号について説明。

教育長

ただ今の説明について、質疑はありませんか。

坂本委員

五島市の場合、嘱託職員の週の勤務時間は何時間になっていますか。

蓮本課長

嘱託職員の勤務時間は、週28時間45分となっています。

教育長

他にありませんか。

全委員

ありません。

教育長

特にないようですので、この件につきましては、承認することにいたします。

以上で、本日提案された議案の審議は終了いたしました。

- 教育長が、協議事項に入る旨述べる。

協議事項 番号 1

市有財産売買契約（仮契約）の締結について

教 育 長

協議事項番号 1 について、説明をお願いします。

田脇補佐

協議事項番号 1（福江幼稚園の民間移譲に係る建物の売買契約（仮契約））について説明。

教 育 長

ただ今の説明について、質疑はありませんか。

吉田委員

配布資料によると、当初は譲渡額について国補助金があると想定した中で募集を行っているようですが、国補助金が見つからないことが途中で判明した後でも、国補助金があると仮定して応募があった金額の自己負担額分をそのまま譲渡額として決定しています。決定額は、建物の鑑定額と開きがあるようですが、国補助金が見つからないというだけで、当初の自己負担相当分を譲渡額として決定したことが妥当であるのか疑問があります。

坂本委員、林田委員

同意見です。

田脇補佐

ご指摘のとおり鑑定額と譲渡額に開きがあります。募集の段階では、国補助金がつくのかということは国の回答待ちの状況でしたので、募集の段階では譲渡希望価格より下回っても応募ができるとして進めました。その理由としては、幼稚園経営自体が利益を生む業種ではなく、あまりにも譲渡額にこだわってしまうと移譲後の幼稚園経営を圧迫してしまうこと。現在福江幼稚園の経営では運営的な赤字がでていることから、その解消も早期に行いたいこと。など早い段階で民間へ移譲したいという方針で取り組んでいますので、今回の決定額で譲渡することとしています。今後の予定として、12月市議会に議案を提出する予定としていますが、鑑定額より安く売ることに対しては、議会の承認があれば契約としては成立しますので、その方向で進めていきたいと考えています。

都々木課長

例えばですが、幼稚園の経営者が新築で園舎を建設するとなると、建設費の4分の3程度が国から補助があります。今回の鑑定額の金額で移譲先が建設するとなると、4倍の建物が建設できるということになりますので、鑑定額を譲渡額とすると、どこの業者からも手が挙がらないというような状況になると考えていますので、新築で建設すると仮定した場合の自己負担額相当分が譲渡額になることは妥当だと考えています。

吉田委員

今の説明は理解できます。あまりにも譲渡額が高いと移譲先が見つからないという現状も理解できます。国補助金が見つからないということは最初から調べればわかることだと思いますが、そこはどうでしょうか。

都々木課長

募集の段階では、国の判断がでておらず回答待ちという状況でした。

吉田委員

まだ疑問が残りますが、通常は鑑定額があって、今回の譲渡額のような割合での金額ではあり得ないと思います。

都々木課長

鑑定額以上の金額でないと移譲しないということになれば、手を挙げる業者はなく民間移譲は実現しないと考えています。

田脇補佐

譲渡額が鑑定額より低すぎるという意見はわかるのですが、今回の目的は建物の譲渡そのものではなく、あくまで経営の移譲ということになりますので、移譲後の幼稚園経営がスムーズに実施されることを考えた場合、金額にこだわり過ぎると民間移譲が進まないと考えています。場合によっては、無償譲渡も考えられましたが、少しでも市財政のためになるよう有償譲渡という方向で進めてきております。建物の譲渡が目的ではなく、あくまで幼稚園経営の譲渡が目的であるということをご理解いただければと思います。

吉田委員

ただいまの説明で納得はできますが、事前に配布してもらっている資料では、いま説明した内容が全く記載されていませんので、事前配布資料にもその辺りのことまで記載していただければと思います。今回の資料の記載内容だけでは疑問しか思い浮かびませんので、今日説明のあった内容が資料で分かると考え方も変わってきますので、資料の作成に工夫をお願いしたいと思います。

教育長

建物の売却が目的ではなくて、幼稚園経営の移譲が主たる目的であるという内容は、今後こういった会議等があった場合に書き添えることは問題ありませんか。

田脇補佐

今後は、目的や経緯など詳細に記載しながら説明していきたいと思いま
す。

教育長

よろしく申し上げます。他にありませんか。

全委員

ありません。

教育長

特にないようですので、この件につきましては、説明のとおり事務を進
めてください。

協議事項 番号2

平成30年3月五島市立幼稚園の閉園に伴う関係例規の廃止及び一部改
正について

教育長

協議事項番号2について、説明をお願いします。

江頭係長

協議事項番号2について説明。

教育長

ただ今の説明について、質疑はありませんか。

全委員

ありません。

教育長

特にないようですので、この件につきましては、説明のとおり事務を進
めてください。

協議事項 番号3

五島市立小学校及び中学校におけるハラスメントの防止等に関する規程
の一部改正について

教育長

協議事項番号3について、説明をお願いします。

山口補佐

協議事項番号3について説明。

教育長

ただ今の説明について、質疑はありませんか。

全委員

ありません。

教育長

特にないようですので、この件につきましては、説明のとおり事務を進めてください。以上で協議事項を終了します。

それでは冒頭に申し上げました、先月大村市で開催された長崎縣市町村教委連総会・研修会について、各委員の皆様よりそれぞれ参加された分科会での協議内容について、感想等を発表していただきたいと思います。

吉田委員

私は、社会教育関係の第4分科会に参加しました。テーマとしては、「活力ある地域社会づくりに貢献する実践的人材の育成方策について」でありました。冒頭に長与町の事例発表があり、現在小学校区に対応した5つの地区コミュニティが存在しているそうです。平成26年3月に地区コミュニティまちづくり計画が策定され、昨年度より県の地域家庭教育力向上推進事業の認定を受け、一部推進校区を指定して研究・実践に取り組んでいるということでした。支援会議における協議や活動を学校主体ではなく、地域、学校コーディネーターを中心に学校、家庭、地域の3者が連携により子ども達を育成していくことを目標としているようです。課題としては、参加児童が減少気味であること、学習支援者の人集め、地域・子ども達主体というがなかなかやりたいことができないなどがあるということでした。この中で、放課後ふれあい塾というのがあり、目的としては、児童と学習支援員との交流を図ること、学校、保護者、地域が協同して企画・運営することとなっているそうです。対象者としては、4年生以上の希望者、活動日は毎週水曜日の放課後約1時間、月2回から4回程度、場所は小学校内に支援室を設けて活動しているということです。活動内容としては、計算をさせたり、漢字の書きとりをさせたりしているそうですが、月1回のペースで体験教室も開催しているようです。

これを元に意見交換が行われましたが、私としては、小学校4年生から6年生まで対象者がどれくらいいるのか質問をさせていただきました。150名程度ということでしたが、そのうち放課後ふれあい塾に参加している児童としては、平均22名程度ということでした。その後、各市町の参加した教育委員から意見や質問がありました。詳細については、教委連事務局より会議録が送付されてきているようですので割愛したいと思います。

坂本委員

私は第2分科会に参加してきました。学力向上を推進する取組についてというテーマで県や各市町の取組について研修する場だったと思います。各市町の教育委員会でどういった取組を行っているのか大いに期待していましたが、学力向上に対する取組については、各教育委員の私見や全国学力調査についての発言が多かったように思います。私は、五島市の学力向上についての取組を発表させていただきました。まず、県の3つの提言を受けて、五島市は成果が上がっているということを説明しました。1つ目の課題改善への「こだわり」と「確かめ」については、学力向上作戦会議などを開催していること。2つ目の「書く活動」を重視した授業づくりについては、研究指定校を増やしているということ。3つ目の「自主的な学習」の習慣化については、プロジェクトG等を活用して推進しているということを説明しました。

私も五島市のこういった取組に深く関わっているわけではありませんので、事前に配布いただいた資料に、学校教育課が良くまとめていただいていたおかげで研修会に臨むことができました。他の市町ではこういった資料の配布はないようでしたので、配慮に欠けているのではないかという印象を受けました。最後にあった県教委の指導助言が参考になったのですが、県教委からは、学力向上は子ども達にとっては進路保障に繋がっていくのだということ、子ども達の未来を守っていかなければいけないという視点に立って取り組まないといけないというような指導がありました。25年5月に学力向上のための3つの提案ということを掲げてやってきているようですが、29年4月に新たに3つの提案を県義務教育課でだしています。大きい項目を言うと、1つ目が、「できた」「分かった」の笑顔があふれる授業、2つ目が、「夢・憧れ・志」を共に育む家庭・地域との連携、3つ目が、子どもが成長する喜びを分かち合う職員室ということで、それぞれにその下に柱がありますが、それについては各課長に資料をお配りしましたので、課内で回覧して確認いただければと思います。

佐藤委員

私は第3分科会に参加してきました。テーマは、家庭の教育力が弱まった時代の親育ち・親育て支援について、子どもたちを取り巻くメディアの現状と対策についてということでした。家庭教育支援について、各市町の取組をいくつか紹介しますと、長与町では「家庭教育の10か条」、島原市では「子育ての三三七拍子」、時津町では「いつでもどこでも5つのしおり」というものがあるようです。五島市でも、市民へわかりやすく親しみやすい家庭教育のしおりがあると良いと思いました。また、SOSを発信する力の弱くなった保護者への家庭教育支援について話し

合いました。ここでは、本当に子育てに悩んでて助けを求めている保護者というのは自分からは言えない、講座にも参加できないという現状があるようです。こういった人をどうやって支援していくかという話になったのですが、その中で印象に残ったのは、民生員に力を借りるという意見でした。学校で気になる家庭があったら先生が民生員の方に連絡して、民生員の方が家庭に出向いて話を聞くという形で、先生と民生員などが横の連携を強化して支援していく必要があるのではという話がありました。そのためには、民生員や地域の人達に学校へ足を運んでもらう必要があるということで、時津小学校では家庭科の授業でミシンを使う場合、地域の方々を呼んで指導してもらったり、花壇の花を地域の人と一緒に植えたり、一緒に授業に参加してもらってマル付けをしてもらったり、学校に来やすくなる取組をたくさん行っているそうです。そうすることによって、子ども達と地域の人がお互いに顔や名前を憶えて、町であっても声を掛けあったりということができるようになるそうです。地域全体で子ども達や保護者を支援することが大切だと思いました。研修の中ででてきたのですが、大きな市になればなるほど子ども会への加入率が低くなっていて、地域の繋がりが薄くなっているという話がありました。私の地区では100%加入していて、それが当たり前だと思っていましたが、五島市全体や他の地区での加入率がどのようになっているのか、後ほど教えていただければと思います。

子どもを取り巻くメディアの現状と対策についてですが、フィルタリング利用率が昨年度より2%下がっていることは問題だと思いました。個人的には、小中学生はSNSは全面禁止でも良いと考えていますが、そうもいかないところがあると思いますので、上手に付き合っていくことが大事だと思いました。メディア安全指導員の数が、五島市では6名いると聞いており、昨年指導員を活用した小中学校は43%のようです。今後は、全小中学校で指導員の活用をお願いしたいと思います。

林田委員

私は第1分科会に参加してきました。2つのテーマがありまして、特別支援教育の推進についてと不登校対応についてということです。特別支援教育の推進においては、特別支援教育の現状と課題について、まず特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室の児童生徒数の推移の説明がありました。通級指導教室では、年平均の増加数は約140名で、過去5年間で692名増加しているそうです。特にLD、ADHDの児童生徒は、10年間で約9倍に増加しています。また、特別支援学級では、平成19年から増加傾向となって、特に在籍1名でも設置可能となった平成25年以降は、年平均150名程度増加しているとのこと。自閉症、情緒障害の増加が顕著で10年間で約5倍になっていました。知

的障害児童生徒の特別支援学校高等部への進学が増加が顕著になっているのは、中学校の特別支援学級の卒業生が増加したためと考えられているようです。今後の予定として、高等学校において主に発達障害の生徒を対象として、平成30年度から段階的に通級による指導を実施していくということです。また、特別な配慮が必要な子どもを見守り、支えるシステムとしての特別支援教育総合推進事業の説明の中で、五島市が他市町に先駆けて実施している取組が紹介されました。平成24年度から文部科学省委託事業「早期からの教育相談、支援体制構築事業」等を活用して、五島市が早期支援のための就学相談員を配置し、保護者の相談対応や個別の教育支援計画を含む「五島っ子サポートファイル」の作成、幼児教育健診の参加、相談対応等を行って、幼稚園から中学校までの継続的な支援を想定して取り組んでいる五島市の取り組みについて報告をさせていただきました。

不登校対応については、若者のニート・ひきこもりは大きな社会問題であり、社会全体で取り組むべき喫緊の課題です。その原因の一つに学齢期における不登校があると考えています。不登校児童生徒に早期にかつ適切に対応することにより、ニート・ひきこもりになるリスクが下げられるのではないかと考えられるのですが、五島市も他市町同様に不登校またはその他の理由により進路が決まらないまま中学校を卒業していく生徒がおり、卒業後自ら進路を選択・決定することが難しく様々な支援の手からこぼれ落ちた存在となり、ニート・ひきこもりになることが危惧されます。教育、福祉、医療の関係機関が連携を図りながら支援していく必要があると思います。また、平成23年8月に設置された長崎県子ども若者総合相談センターが、社会生活を円滑に営む上での様々な問題や悩みに対して、総合的に相談を受けて必要な情報提供や助言を行うとともに相談内容に応じて適切な支援機関を紹介してくださるということです。このセンターについて、広く周知をしていただきたいと思います。

教 育 長

私は、教育長部会に参加してきました。テーマは、教職員の超過勤務縮減についてでありました。大きな柱は、社会体育や部活動の過熱化防止に向けてどうするかということで、かなり前から「家庭の日」ということが言われていますが、第3日曜日が定着をしていない、家庭の日の体をなしていないという現状がありますので、実効性のあるものにしていくことが大事なのではないかということがでておりました。そのために必要であれば県から何らかの通知をだして、全県的に一斉に「家庭の日」を実施するというような方向で進んでいく必要があるのではないかと思います。また、ワークライフバランスのとれた職場づくりについ

てどうしたら良いのかということについては、今年度から本庁関係課と各市町教育委員会、学校教育課長が入っての会議が開催されています。超勤改善等対策会議というのが5月に開催されて、この会議に期待されているところが大変大きいようです。この中でやはり実効性のある具体的な取組を提案できるように期待しているということです。同時に働き方改革によって単純に教職員の業務軽減だけではなく、働き方改革が子ども達への良い影響を及ぼしていくような意味合いも持つ必要があるだろうと、またそのためには保護者への啓発をより具体的にしていく必要があるのではないかとということで、より具体的という所がまだ見えてきませんが、これから協議されることになる超勤改善等対策会議に大いに期待したいと思います。

以上で、教育委員からの報告は終了しましたが、先ほど質問がありました子ども会の加入など五島市の実態について事務局より説明をお願いしたいと思います。

尾崎係長

五島市の実態としては、今、資料を持ち合わせていませんので、具体的な数値はお答えできませんが、子ども会への加入率は他市町と比較して高い方になります。ただし、100%ではありません。地区によっては、子どもが少なく存続ができない所もあります。教育委員会としては、そういった地区へは隣の地区等と一緒にしてほしいとお願いをしている所ですが、なかなか難しい状況です。

教育長

メディア安全指導員の人数が五島市では6名いるという話もありましたが、本市においてはこの人数が妥当なのかどうか。また、活用率が他市町と比べてどうなのか。多い少ないが重要ではなく、有効に活用されているのが重要だとは思いますが参考までに聞かせてください。

尾崎係長

メディア安全指導員の人数としては少ない方だと思います。指導員になるための講習会が大村市で開催されることになっていますが、日程的・予算的に五島からは受講が難しい所もあり、なかなか指導員の人数が増えにくい状況にはあると思っています。家庭教育学級や出前講座でメディアについての講座の申込みはかなり増えている状況ですので、何か工夫が必要だと思っています。

教育長

メディアに対する危機意識や講座の需要が高まっているようです。あわせて、上手に付き合っていくということもしっかり学ばせないといけないと思いますので、担当の方はよろしくお願いします。

それでは、前回定例会で配布しておりました、「教育委員会各課具体的施策の進捗状況と課題（平成29年4月末現在）」について、今年度、各課での取組内容、進捗状況等について、まず説明をお願いします。

蓮本課長

平成29年度に取り組む事業の内容及び進捗状況等を説明。（総務課分）

大窄課長

平成29年度に取り組む事業の内容及び進捗状況等を説明。（生涯学習課分）

都々木課長

平成29年度に取り組む事業の内容及び進捗状況等を説明。（学校教育課分）

教育長

ただいまの各課からの説明について、何か質問等はありませんか。

吉田委員

総務課関係の小中学校内の焼却炉撤去についてですが、前回の調書では夏休み期間を利用して撤去を行うとありました。今回の調書では、工事期間が6月～3月となっています。子ども達の安全・安心、健康に対する影響を考えると子ども達のいない時期に撤去するのが良いと思いますが、夏休み期間中の撤去が可能かどうか教えてください。また、平成12年1月から法の改正により焼却炉の使用が禁止となったとあります。すでに17年程度時間が経っていますが、今年度を実施することになった理由としては補助金とかの関係になりますか。

田脇補佐

できる限り夏休み期間中の撤去で進めたいと考えていますが、焼却炉の撤去は特殊なところがあります。まず洗浄をする必要がありますが、それをできる業者が県内に数社しかいない状況です。五島市を3地区に分けて実施する予定ですが、業者数との関係で洗浄する期間がどうなるか不透明な状況です。例えば1つの業者が3地区とも実施するという可能性もありますので、工事期間を長めにとっています。

吉田委員

現在の使用禁止の状態で、ダイオキシン類は残っている状況ですか。

田脇補佐

事前調査は前年度に行っていて、いくらかの数値は上がっていますが、基準値は下回った状態でした。撤去作業については、ダイオキシン類が残っていることを前提とした作業がありますので、それに準じた工程で進めていくことになっています。

吉田委員

解体については、洗浄も含めて子ども達の人体に影響のない形で撤去が行われるという理解でよろしいですか。そうなれば、夏休みに限らず撤去ができるということになりますか。

田脇補佐

はい。

吉田委員

学校教育課関係で、五島っ子さわやか運動について、さわやかポロシャツというのがあり、県中総体等で子ども達が着るようになっていたと思います。実物を見かけたことがないのですが、このポロシャツはどういったものですか。

都々木課長

4年前に購入して、県中総体に出場する200～300人分を福江中学校に保管しています。

吉田委員

せっかくですので、定例会の際にもさわやか三唱をやってはどうでしょうか。

教育長

事務局は検討しておいてください。

○ 「その他」として次の報告・質疑がなされた。

蓮本課長、大窄課長

①6月市議会定例会の概要について

○6月14日～30日（会期17日間）の期間で開催。

○文教厚生委員会では、条例案「幼稚園条例の一部を改正する条例の一部改正」の審議があり、特に質疑・意見はありませんでした。

○29年度補正予算（第1号）については、いくつか質問がありそれぞれに答弁し、昨日の予算委員会で現案可決となっています。

○一般質問では、教育委員会関係で2名の議員より質問がありました。一般質問の内容及び答弁については次のとおり。

【野口議員】

○文化財専門職員の配置と育成について

⇒ 文化財専門職員の配置の重要性は認識しているが、行政改革を進めている現状においては、文化財担当職員のスキルアップ研修など、人材育成に努めるとともに、県の支援を受けながら保全・活用を図っていききたいと答弁して

います。

【草野議員】

○①教育長の目指す教育は。②全国学力テストに対しての取り組みは。③福江幼稚園の民間移譲の進捗状況について

⇒ ①「特別支援教育の視点を学校の隅々まで行き渡らせる」というのが最大の教育理念である。

②調査結果の全市的な分析を元に市内児童生徒の課題改善のための五島市学力向上プランを策定し、取り組んでいる。

③双葉学園の県からの認可をもって、建物の譲渡契約、土地の貸与契約を進めたい。

②7月の定例教育委員会について

7月26日（火）に開催予定としています。

③29年度第1回「総合教育会議」の開催について

7月31日（月）に開催予定としています。7月定例会終了後に勉強会を行いたいと考えています。

大窄課長

①五島観光歴史資料館特別展示「写真で見る五島の今昔」について

（5月3日～6月4日）

②五島市青少年健全育成連絡協議会総会について（5月26日）

③国指定重要文化財「江上天主堂」修理見学会について（5月27日～28日）

2日間の見学者数125人（島外82、奈留37、福江6）

地元信者、ツアー客（キリシタンクルーズ、日本丸現地ツアーほか）

④大浜地区公民館運動会（大浜小学校との合同運動会）について（5月28日）

⑤第3回「古本まつり」について（5月28日）

来館者285人。図書館友の会主催。海陽高校生11名のボランティア支援あり。

⑥青少年劇場について（6月15日）

⑦社会教育委員会、図書館協議会の開催について

⑧福江大水害50周年写真パネル展について

都々木課長

長崎県学力調査の結果について

小学校は5年生、中学校は英語のみ3年生で他は2年生が受験しています。

平成29年度の小学校の国語については、県内で最下位となっています。28年度は10位、27年度は6位でした。年々下がってきていますが、県内の平均だけでは見えてこないところがあり、人数の多い学校の結果に大きく影響を受けま

す。

五島市では学校規模が大きく異なっており、各学校ごとの課題も異なるという現状があります。学校教育課としては、五島市全体の課題として研修を設定するのですが、それが各学校ごとの課題と合致していないところがあるのではないかとということがあり、研修の成果がなかなか現れないのではないかと感想を持っています。今後は、子ども一人一人に目を向けて、一人一人を伸ばしていくことが市全体の良い結果につながると思いますので、さらに研究を深めながら取り組んでいきたいと思っています。

堤園長

今週、子どもを見つめる教育週間を実施しています。先日、祖父母との交流会を実施したところ22名中18名の参加ありました。

松坂富江分室長

富江地区青少年健全育成協議会理事会を開催し、少年球技大会の日程や種目について協議しました。今年度は中学校体育館が使用できないことと、小中の交流を深めるため、小中合同でペタンク大会を実施することになりました。

立本三井楽分室長

7月15日に高浜海水浴場のクリーンアップ作戦があり、多くの子ども達が参加する予定です。海開きの安全祈願祭、水難救助の実習、清掃活動が予定されています。また、16日には、万葉の里ペーロン大会も実施されます。例年多くの方に参加いただいています。

松下岐宿分室長

7月16日に漁火まつりが開催されます。祭りの時にヒマワリが満開を迎えるのではないかと思います。

教 育 長

以上をもちまして、本日の6月定例教育委員会を閉会いたします。
(午後4時1分)